

町民と農家をつなぐ広報誌

INA Agri Channel

by Studio Agri

Connecting townspeople and farmers
public relations magazine

Vol.06

2025
Spring

「特集」女性農家



農女[🌿] 家性

female farmer

伊奈町の農業を支える農家さん。
農業を始めた理由やきっかけは様々
世代やライフスタイルも人それぞれ：
今回は女性の農家さんにスポットを当ててみました！
普段の農作業は？ 家庭との調和は？
気になることはたくさんありますよね？
これを読めば、農家さんをより身近に感じられるかも…！？
それではどうぞ！



contents

- 04 女性農家さんにインタビュー
- 08 伊奈町産米応援プロジェクト
- 10 バケツ稲育ててみた
- 12 アグリリポーターまこの農業の豆知識
援農ボランティアを募集しています
- 13 アグリ仮面の農業モーター SHOW
- 14 事業案内・募集情報
- 16 How to Cooking & Menu



INA Agri Channel



まんぼうマルシェ店長
大橋真波さん

Manbou Marche
Vegeboy Kitchen

女性農家さんにインタビュー！

今回のアグリチャンネルでは、伊奈町の女性農家さんの方2名にインタビューしました。普段の農作業の様子や農業を始めたきっかけなどについて聞いてみました！

それではどうぞ！

はじめにインタビューをしたのは大橋真波さんです。大橋さんは伊奈町で主に野菜の栽培をしている農家さんで、ご自身のお店であるまんぼうマルシェの店長を務めています！

農業を始めたきっかけは何でしょう？

ーもともと私は、幼稚園の先生として働いていましたが、結婚を機に主人が新規就農で始めた農業を手伝うようになり、農業を始めました。はじめた頃は先々の不安もありました。最近は気温が高く思った通りに野菜が育たないこともあります。楽しく作業ができています。



農業を始めて何年くらいになりますか？

ー10年くらいになります。

普段はどのような作業をしていますか？

ー普段は直売所で店長業務をしながら、野菜の袋詰めや接客、SNSに載せたりしています。

一日の作業量や作業時間はどれくらいでしょうか？

ー一日8時間程度だと思っています。朝7時から準備をして、マルシェの閉店時間が14時半頃、片づけをして一日の作業を終えます。



農業をやっていてよかったと思うことはありますか？
 自分たちの圃場で取れた野菜の出来栄の確認や試食も兼ねて、家で食べたりしますが、いつでもおいしい野菜を食べられることや、季節をより感じて生活ができ、野菜を通して心が豊かになります。



がおいしいと言って買ってもらえることが何よりもうれしくやりがいを感じ、楽しいと思います。



農業をやっていて大変だなと思うことはありますか？

天候が影響して思うように野菜が育たないことや、野菜の相場で売れ行きが左右されることが大変です。

農作業についてこだわっていることはありますか？

私は主に野菜の袋詰めをしています。パッケージ等の見せ方にはこだわっています。

野菜の食べ方の説明をラベルに書き込んだりして工夫をしています。野菜の売れ行きも左右されるので、SNSにアップする際にも写真の撮り方を工夫したり、伝わりやすいように書くようにしています。

家事との両立はどのようにされていますか？

忙しい時は両立できているかはわかりませんが、無理をしないようにしています。家事や育児の分担をしたり、両親に協力してもらったりして、夫婦でお互い負担にならないように工夫しています。

今後やってみたいことはありますか？

畑を使って野菜の収穫体験やマルシェ等のイベントを開催して、野菜を通じて農家さんや異業種の方々との交流ができる場所を作ってみたいです。

大橋さん、ありがとうございます！



Shop Information

ベジボーイの野菜は下記の場所で買うことができます。

ベジボーイキッチン
 住所／伊奈町大字小室9350番地1
 営業時間／10:00～19:00
 定休日／月・火

まんぼうマルシェ
 住所／蓮田市駒崎377番地1
 営業時間／10:00～14:30
 定休日／月・火



バラ農家
齋藤有美子さん
Rose Farm

女性農家さんにインタビュー！2

次にインタビューをしたのは
齋藤有美子さんです。齋藤さん
は伊奈町で主にバラのハウス栽
培をしている農家さんです。

農業を始めたきっかけは
何でしょうか？

「私は農業を始める前は会社員
として働いていましたが、夫
が農家の長男であったため、
夫が実家の伊奈町に戻るのを
機に農業の道を選択しまし
た。」

農業を始めて何年くらいに
なりますか？

「37〜8年になると思います。」

農業を始める時に不安や
迷いはなかったでしょうか？

「農業の経験が無かったので最
初は不安でした。他市の農家
さんに1年ほど研修をさせて
いただき技術を身につけ、大
変なこともあります。今は楽
しく仕事をしています。」





普段はどのような作業をしていますか？

― 普段の作業は、花の採花、手入れ、市場やJAの直売所への出荷作業をしています。

一日の作業量や作業時間はどれくらいでしょうか？

― 季節にもよりますが、朝は日が出るころから作業を開始し、作業が終わるのは夕方の5時〜6時くらいでしょうか。



忙しい時期はありますか？

― 6月頃から忙しくなります。特に12月、3月は季節柄お花の需要が多くなるため、その時期に合わせて花が咲くように手入れや温室の調整をしています。

農業をやっていて楽しいと思うことはありますか？

― 自信をもって売れる花を栽培していることを実感できることや、お客様から喜びの声を頂けたときは、励みにつながります。

農業をやっていて大変だなと思うことはありますか？

― 天候に左右されることです。冬は雪予報の際の対策や、温室の暖房調整が大変です。ここ数年は夏が暑く、高温障害等が出てしまうことがあります。寒さ是对策できても暑さは防ぎようがありません。また、最近では、燃料費の高騰や、肥料や消毒等に使う薬品の価格が高騰しています。が、販売している花の価格に見合っていないところもあります。



家事との両立はどのようにされていますか？

― 家事は夫の理解もあり、ある程度楽をさせていただいたと思います。特に育児・子育ての時期はとにかく忙しかったの言葉につきます。仕事が忙しい時にはパートの方に頼ったりして、両立をするというよりも、その場その時の優先順位を考えてやってきました。

これからやってみたいことはありますか？

― 今は自分の時間が作れるようになってきたので、お客様の要望に応えられるように、花



のアレンジなどを勉強し、仕事に生かしていきたいと考えています。

齋藤さんありがとうございます！

今回ご協力いただいた大橋さん、齋藤さんありがとうございます！普段は聞けない貴重なお話を聞くことができました！これを読んで農家さんを身近に感じていただければと思います！



伊奈町産米応援プロジェクト

「伊奈町産米応援プロジェクト」ってなんだろう？

伊奈町は、古くから農耕が営まれ、江戸時代には代官頭伊奈備前守忠次公による勧業治水により水田地帯として開け始め、かつては米・麦作を中心とする農村地帯でありました。現在は、美しい田園風景や町に点在する畑・果樹園が貴重な緑地空間となっています。

伊奈町も全国の農業地域と同様に、農業者の高齢化や後継者不足の問題が深刻になっており、町東部の美しい田園地帯にも遊休農地が散見されるようになりました。

このような中、伊奈町の田園風景を守り、特別栽培米（減農薬減化学肥料）等の環境保全型農業により生産された米を、地元企業が持続可能な価格で一括購入し農業者を

支える地産地消の仕組みである「伊奈町産米応援プロジェクト」を令和3年度に立ち上げました。
このプロジェクトにご賛同いただきました地元企業と協定を締結させていただきます。

○協賛企業

株式会社モリタ東京製作所

（歯科医療機器製造・販売）

株式会社サンフレッセ

（冷凍パン類製造・販売）

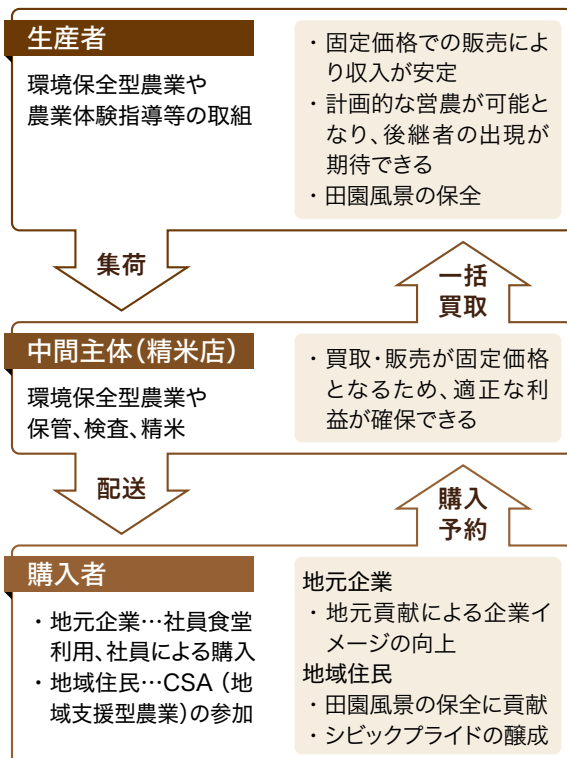
DIC株式会社埼玉工場

（工業用粘着テープ・液晶材料・インキ製造・販売）

ポークライト株式会社

（粉末冶金製品製造・販売）

伊奈町産米応援プロジェクトの仕組み





「彩のきずな」収穫体験

9月下旬に「伊奈町産米応援プロジェクト」に賛同する地元企業の皆さんと各企業の食堂で提供させていただいているお米「彩のきずな」の収穫体験を行いました。

当日は、協定を締結している4社の企業の皆さまやそのご家族にご参加いただき生産者さまとの交流を楽しみました。

現在の稲刈りはコンバインという機械を使って行っていますが、今回は生産者さまの指導の下、手刈りによる稲刈りで、慣れない鎌の扱いに苦戦している場面も見受けられましたが、収穫が進むにつれてコツをつかみ手際よく収穫していました。

今回の収穫体験を通して、農業の苦労や楽しさを感じていただき、伊奈町のお米や農業に興味を持っていただくことができました。





バケツ稲育ててみた

こんにちは！アグリ推進課、期待のニューフェイス！とみーです！！
 今回は、アグリ推進課で実際にお米を育ててみようと思い立ち、バケツ稲に挑戦してみました！
 バケツ稲とは、限られたスペースでお米を育てることができる、簡単に楽しい方法です。
 お家のお庭やベランダなど、どこでも手軽に挑戦できるため、家庭菜園や学校の授業、
 さらには子どもたちとの学びの場としても人気の栽培方法です！



バケツ稲を育てるために必要なもの

- ① バケツ** 一番重要なアイテムです。普通のプラスチックバケツや大きなプラスチックの容器で十分です。容量は10～20リットルくらいが適しています。
- ② 土** 稲は水を多く必要とするため、しっかりとした排水性のある土が理想的です。市販の園芸用土や、稲作用の土を使うと良いでしょう。
- ③ 稲の種** 稲の品種は一般的に「コシヒカリ」や「ササニシキ」など、家庭用でも育てやすいものを選びましょう。ネットで手軽に購入できます。
- ④ 水** 稲は水に浸かって育つため、バケツには常に水を張っておく必要があります。
- ⑤ 肥料** 稲は成長をサポートするために肥料も必要です。化成肥料や有機肥料を少量ずつ与えると良いでしょう。
- ⑥ 日光** 稲は日光が大好きなので、日当たりの良い場所にバケツを置くことが大切です！



① 稲の種まき

まず、バケツに土を入れ、均等に広げます。その上に稲の種をまき、軽く土をかぶせます。稲は比較的早く発芽するため、種まき後1週間程度で芽が出ます。

今回は、お皿にティッシュを敷き、ティッシュがヒタヒタになるくらいのお水を与えて発芽させたものを、少し成長させてバケツに植えました。

バケツ稲の育て方

Bucket seedlings

② 水やり

稲は湿った環境を好むため、バケツ内には常に水を張っておく必要があります。水位が低くなると根が乾燥してしまうので、定期的に水を足しましょう。水を張る深さは5〜10センチ程度が目安です。



③ 肥料の追加

約2週間に一度、肥料を少量加えることで、稲の成長を促進できます。液体肥料を水に溶かして与える方法もあります。

④ 成長と管理

稲が成長していく過程で、枯れた葉や雑草を取り除くなど、管理をこまめに行い、背丈が40〜50cm程度になってきたところで、「中干し」という作業を行います。干し、とあるようにバケツ内の水を抜き、土を乾燥させる作業です。中干はおおよそ7日から10日程度行いましょう。特に、花が咲く時期には、害虫が寄ってくることもあるので、その対策も忘れずに！

⑤ 収穫

稲が十分に成長し、穂が色づいたら収穫の時期です。バケツの中の稲が黄色くなったら、穂を手で摘み取ります。



⑥ 脱穀・精米

穂を乾燥させてから、穂から籾を取り出し、脱穀してお米の完成です！上手くいけば、約お茶碗一杯分くらいの量が収穫できます！！



バケツ稲を育てる楽しさ

バケツ稲は、ベランダなどの少ないスペースでも楽しみながら栽培でき、実際に収穫して食べることができるため、農業体験としてもおすすめです。日々の成長を観察しながら、農業の楽しさや大切さを学ぶことができるのが魅力です。ぜひ、ご家庭でチャレンジして農業の楽しさや難しさを体験してみてください！

注意点 ＊水位の管理：稲は水が多すぎても少なすぎても成長に影響が出るので、水位を適切に保つことが重要です。
＊気温管理：温暖な気候を好むため、冬の寒さが厳しい地域では育てるのが難しい場合があります。

まとめ

今回のバケツ稲チャレンジでは、猛暑、カメムシ等の害虫やいもち病によって幾度も枯死の危機に見舞われましたが、少量かつ品質は良くないものの何とか収穫することができました。

バケツ稲を通して、改めて農家さんたちの苦労や努力を知ることができ、より一層農家さんたちを支援し円滑に農業に取り組めるよう、アグリ推進課もより一層業務に励んでいこうと思います。



アグリリポーターまこの農業の豆知識

みなさんこんにちは！アグリリポーターのまこです！

このコーナーでは農業についてみなさんが疑問に思うであろうことを、勝手に解説していきます！

果物と野菜の違いって？

突然ですが、みなさんは果物は好きですか？リンゴに

イチゴ、みかんやメロンなどたくさん種類の果物がありますよね！でも、私たちが普段食べている果物、実は分類上「野菜」のものがあるかもしれない！それでは、野菜と果物の違いはどこにあるのでしょうか？

農林水産省では、概ね2年以上栽培する草本植物や木本植物で、できた果実を食用とするものを果物として取り扱っています。また、種から発芽して収穫も一年に一度きりのもの（一年生草本植物）は野菜として扱っています。

そのため、リンゴやみ



かん、桃などは「果物」として扱われていて、イチゴやスイカ、メロンなどは「野菜」として扱われているそうです。

普段何気なく食べている果物。実はこんな風に分類されていたんですね！みなさんも、果物を食べるときは「これは、野菜かな？果物かな？」と考えながら食べるとう面白いかもしれませんね！

援農ボランティアを募集しています！

援農ボランティアは、企業を退職したシルバー世代や農業への興味・関心が高い町民が、農業を学び体験する機会づくり、そこで得られた経験を活かして農業の応援を行う制度で、町民の農業とのふれあいの機会を確保するとともに、農業者の作業負担軽減を図り、伊奈町農業の全体的かつ持続的な発展に資することを目指す。

農家のもとで農作業のお手伝いをしたいという方を、援農ボラ



登録・派遣までの流れ

ンティアとして登録します。登録された援農ボランティアは、希望の時期や農作業内容等を考慮したうえで受入農家とマッチングされ、面談を経たうえで派遣されます。

援農ボランティアへの登録を希望する方は、伊奈町援農ボランティア登録申請書に必要事項（希望作業内容、希望作業期間等）を記載し、役場アグリ推進課窓口へ提出し、申請した方を援農ボランティアとして登録します。

各人の希望等を踏

まえたうえで、アグリ推進課において受入先となる農家とのマッチングを行い、面談の日程を調整します。受入農家との面談で、作業内容や作業期間を決定し、双方合意となればいよいよ派遣開始となります。

みなさまのご応募をお待ちしております！



やあ、みんな！ 熱血アグリリポーターことアグリ仮面だ！
このコーナーでは農家さんが使っている農機などを
写真と共に紹介していくぞ！ ついて来い！

アグリ仮面の 農業モーターSHOW

AGURI KAMEN AGRICULTURAL MOTOR SHOW

管理機

みんなは「管理機」って聞いたことがあるかな？ 管理機は、畑で使う小さな機械で、土をふわふわに耕したり、草を取り除いたりするのをお手伝いするんだ。大きなトラクターをずっと小さくしたような機械なんだ！

管理機の仕事

管理機は、畑をきれいに保つために大事な役割を持っているんだ。
例えば

- ★土を耕す：管理機は土を細かくして、作物が育ちやすくなるようにするよ。これを「耕す（たがやす）」って言うんだ。
- ★雑草を取る：畑に生えてくる雑草を取ってくれるから、作物が元気に育つんだ！
- ★畑の手入れ：小さな畑や庭でも使えるから、家庭菜園をしているおじいちゃんやおばあちゃんもよく使っているよ！
- ★マルチ張り：マルチという、作物が育つのを支えてくれるシートを素早く敷いてくれるよ！



管理機は合体ロボット!?

管理機にはいろいろなアタッチメントを合体させることで土を耕したり、マルチを張ったりと様々な農作業をすることができんだ！まさに、合体ロボットみたいだね！
しかも、力をあまり使わなくてもいいから、農家の人たちや家庭菜園をしている人たちがとっても楽に作業できるんだ！

管理機はどうして便利？

管理機はいろいろな農作業を素早くできるようにしてくれるのはもちろん、トラクターが入れないような狭い畑でも使うことができるんだ！
しかも、管理機によっては、小さく持ち運びしやすいものもあって、車に載せて色々な場所に持っていくことができるんだ！



アグリ推進課 年間行事予定

10月 米づくり体験教室(稲刈り)

6月に植えたお米を手刈りで収穫できます。収穫したお米は参加者の方にお配りしています♪



11月 伊奈マルシェ

農福連携イベントとして、伊奈マルシェを開催しています。

地元農家や福祉団体などが出店しています。キッチンカー などの出店もあり、会場は終日賑わいを見せています。



11月 文化祭

毎年11月に開催される伊奈町総合文化祭では、農産物共進会と大根直売会が恒例行事となっています。共進会では、今後の農業の更なる発展のため、出品された農産物の形状等の審査を行い、入賞者には賞状が授与されます。



5月 バラまつり

毎年5月に開催しているバラまつりの中で、アグリ推進課ブースを設けています。町内の若手農家さんが出店し、新鮮野菜やお米のほか、トマトやブルーベリーのジュースやジャムなどの加工品も販売しています。



6月 米作り体験教室(田植え)

いな穂街道から望む田んぼ地帯で、昔ながらの方法で田植え体験ができます。

おいしい空気を吸いながら、農家の気分を味わってみませんか？



9月～12月 野菜栽培教室

現役農家の指導のもと、さまざまな種類の野菜を栽培して農業に親しむ体験事業です。

農家さんに栽培のコツをたくさん教えてもらうことができるので、ぜひ参加してみてください！



9月 ぶどう収穫体験教室

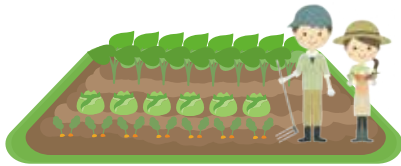
ぶどう農家さんが指導してくださり、ぶどうの収穫を体験できる事業です。



募集情報

レクリエーション農園について

3月3日より、令和7年度のレクリエーション農園入園受付を開始しています。



入園期間：契約日から令和8年2月28日まで
区画面積：1区画約10坪（約33㎡）
入園料：年間5,000円／1区画
農園の空き状況の確認や契約手続はJAさいたま伊奈支店（721-2953）までお問い合わせください。

農業体験（野菜栽培教室）

現役農家の指導のもと、定番野菜を栽培して農業に親しむ体験事業です。



申込開始日：8月上旬
（定員になり次第終了）
実施場所：役場そばの畑
初回講習日：9月上旬
申込先：アグリ推進課（721-2111）

米づくり体験教室

田んぼ地帯の真ん中で、昔ながらの方法で田植えと稲刈りを体験する事業です。おいしい空気を吸いながら、農家の気分を味わってみませんか？



申込開始日：4月上旬
（定員になり次第終了）
実施時期：田植え…6月上旬
稲刈り…10月上旬
申込先：アグリ推進課（721-2111）

レクリエーション農園、各種教室のお申込みは、広報いなでお知らせします。

農家の掲示板

農薬の適正な管理を！



農薬を使用する際には、決められた用法・用量を守り、また使用後は適正な管理をしましょう。また近隣への迷惑を避けるよう、散布する時間帯にも注意し、なるべく早朝などに実施するようにしましょう。

農業者年金への加入を！



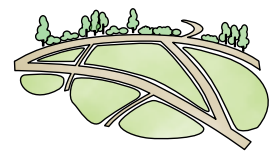
農業者が加入できる、積立方式・確定拠出型の安定した終身年金です。保険料は自分で選べて、またいつでも見直しが可能。他にも全額社会保険料控除、保険料の国庫補助など、メリットの多い農業者年金への加入をおすすめしています。

収入保険制度で災害への備えを！



収入全体を対象とした総合的なセーフティネットとして、収入保険がスタートしました。災害や価格低下などでの減収の際、最大9割が補填されます。品目の限定も基本的にありませんので、幅広い農業経営に対応することが可能です。なお加入にあたっては青色申告をしていることが必要です。

農地の適正な管理を！



農地の適正な管理は、農地法に定められている農地所有者の義務となっています。休耕地においても定期的に除草を行い、周辺に迷惑がかからないようにしましょう。また農地法の許可を得ずに農地を農地以外のものへと転用した場合、3年以下の懲役又は300万円以下の罰金に処される可能性があります。

いなアグリチャンネル

伊奈町アグリ推進課職員が、伊奈町農業や農業政策のリアルを住民の皆様にお届けするコーナー。これさえ読めばアナタも伊奈町農業のエキスパート！

いなアグリチャンネルアドレス

https://ina-navi.net/article/agri_inamachi



熱血アグリリポーター
アグリ仮面



～旬の食材をふんだんに～ 春キャベツと鶏肉のメンチカツ

材料(4人前)

春キャベツメンチカツの種

- ・ A 春キャベツ ……300g
玉ねぎ ……200g
- ・ B 鶏ひき肉 ……300g
パン粉 ……30g
卵 ……1個
塩 ……6g
黒胡椒 ……適

☆パン粉つけしてください♪

春キャベツのコールスロー

- ・ 春キャベツ ……300g
- ・ 玉ねぎ ……100g
- ・ 人参 ……50g
- ・ C 塩 ……3g
上白糖 ……8g
お酢 ……30g
サラダ油 ……50g



春キャベツメンチカツの手順

STEP 1



STEP 1

材料Aはボールで塩もみして5分くらいおく。

STEP 2



STEP 2

そこからザルをかまして1分くらい流水してキッチンペーパー等で水気を切る。

STEP 3



STEP 3

別のボールにBの材料とAを一緒に手で混ぜる。

STEP 4



STEP 4

100gくらいに具を分けて(1人2個目安)でまとめていく。

STEP 5



STEP 5

そうしたらパン粉をつけて、油を火にかけ180℃の温度で揚げていく。
※いっぺんに入れると温度が下がるので2個づつとかで揚げていくと良いと思います。

春キャベツのコールスローの手順

STEP 1



STEP 1

Cの材料はボール等で混ぜておく。春キャベツはあまり細くない千切りにしておく(好みの太さで大丈夫です)
人参も千切りにして玉葱はスライス(薄めの方が辛味が抜けやすい)する。

STEP 2



STEP 2

そこにCの調味料を良く混ぜ合わせて漬け込む。

仕上げ

完成!



お皿にメンチカツを盛り付け
コールスローは小さな器と一緒に旬のお野菜も
お好みでつけ合わせる。
※ソースはお好みで楽しんでください♪

今回も伊奈町にあるベジボーイキッチンにご協力いただきました。
とれたて野菜を楽しめるステキなレストランにぜひ、
みなさん足をはこんでみてくださいね!

Shop Information

住所/伊奈町小室9350-1
問い合わせ/050-1494-8473

